第１３回 臨時社員総会資料

一般社団法人日本医療薬学会

日 時 ： ２０２１年１２月４日（土） 13 時 30 分 ～ 14 時 00 分
場 所 ： 一般社団法人日本医療薬学会　７階会議室

第１３回 臨時社員総会　次第

１．会頭挨拶

２．成立確認

３．議事録署名人の指名

４．協議事項

第一号議案　2022 年度事業計画案　１ ページ

第二号議案　2022 年度予算案　９ ページ

第三号議案　名誉会員の委嘱　１６ ページ

５．報告事項

報告事項１　2021 年度各学会賞受賞者・論文のお知らせ　１８ ページ

報告事項２　2022 年度各学会賞受賞候補者の募集　２３ ページ

報告事項３　2022 年度医療薬学学術委員会の調査研究課題の募集　２５ ページ

報告事項４　2022 年度海外研修等派遣員の募集　２８ ページ

報告事項５　第 36 回年会年会長候補者の募集　３１ ページ

協議事項　第一号議案

２０２２年度 事業計画案

自　2022 年 1 月 1 日
至　2022 年 12 月 31 日

2022 年度 事業計画（案）

2022 年は、第 14 回定時社員総会（同年 3 月下旬頃に開催予定）において新役員が選任され、新会頭の下で本学会の活動が実施される。2020 年 1 月から感染が拡大した新型コロナウイルスにより、2021 年度は、現地、オンライン又は両者を併用した開催形態へと変化する形で、年会、研修会・セミナー・公開シンポジウム等が実施された。現状ではオンライン開催へのニーズが高まっている状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症の蔓延期のみならず、終息期も踏まえた多様性且つ適正な学会の運営方法の検討を進める。

2022 年においても、引き続き新型コロナウイルスへの感染対策を講じながら、第 32 回年会、第 5 回フレッシャーズ・カンファランス、医療薬学公開シンポジウム、専門薬剤師制度に係る研修会の開催、論文審査等を進めることで学術活動の活性化を推進する。2020 年に再構築した専門薬剤師制度の更なる広報を進め、質高く、安心かつ安全な薬物療法の提供を通じた薬剤師の社会貢献を図り、国民福祉のさらなる向上と充実を目指す。

１．年会開催

第 32 回日本医療薬学会年会

年会長　　山本 康次郎（群馬大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

開催日程　2022 年 9 月 23 日（金・祝） ～ 25 日（日）（予定）

開催地　　群馬県高崎市　G メッセ群馬ほか

ハイブリッド開催（現地開催＋Live 配信＋オンデマンド配信）

２．医療薬学公開シンポジウム開催

第 85 回～第 88 回医療薬学公開シンポジウムを開催予定

３．フレッシャーズ・カンファランス開催

第 5 回フレッシャーズ・カンファランス

実行委員長　伊藤 清美（武蔵野大学薬学部 教授）

開催日程　　2022 年 6 月中旬（予定）

開催地　　武蔵野大学・武蔵野キャンパス（東京都西東京市）

４．医療薬学誌の発行

第 48 巻 1 号～12 号を発行する。　（毎月発行）

５．JPHCS 誌の発行

第 8 巻をオープンアクセスジャーナルとして発行する。　（随時掲載）

6．会議開催

1　第 14 回定時社員総会

（2022 年 3 月中旬から下旬頃に開催予定）

2　第 14 回臨時社員総会　第 32 回日本医療薬学会年会会期中に開催予定

3　定例理事会　年間 6 回開催予定

7．各委員会活動

（1）総務委員会

1　新型コロナウイルス感染症の蔓延期における学会運営に関する検討を行う。

2　働き方改革・新型コロナウイルスへの感染対策等を念頭にした学会運営・会議等の電子化を推進する。

3　諸規程の整備・定款見直しの必要性に関して確認する。

4　事務局組織体制の整備・強化（人員確保も含む）と事務員の勤務評定の導入を目指す。

5　その他、会の円滑な運営に必要な事項を検討する。

（2）財務委員会

1　本学会の資産を適切に管理する。

2　予算の執行状況を定期的に確認する。

3　歳出入の適切性を監視する。

4　年会の組織委員会に参画し、年会長と理事会及び学会事務局との連携を推進する。

5　年会会計を適切に管理・監督する。

6　2021 年度決算報告書を作成する。

7　公益社団法人への移行を見据えた 2023 年度予算案を編成する。

8　学会運営における財務改革について提言する。

（3）企画・シンポジウム委員会

1　2022 年度に開催される公開シンポジウム運営への助言、支援を行う。

2　本学会の委員会等が企画するプログラムの年会への組み入れを年会長に提言する。

3　新型コロナウイルスへの感染対策を考慮した公開シンポジウムの開催のあり方（WEB 開催など）について協議する。

（4）フレッシャーズ活性化委員会

1　第 5 回フレッシャーズ・カンファランスを開催する。

2　第 5 回フレッシャーズ・カンファランスを開催することで、若手・新人の発表の場を提供するとともに、優秀な若手・新人を顕彰する。

3　2023 年度以降のフレッシャーズ・カンファランスの開催計画を立案する。

4　若手・新人の研究アクティビティーの向上策について検討する。

5　新型コロナウイルスへの感染対策を考慮したフレッシャーズ・カンファランスの開催のあり方（WEB 開催など）について協議する。

(5) 広報・出版委員会

1　ホームページの更新及び改訂を継続する。

①　会員以外の者（薬学研究者、医療関係者、薬学生や大学院生、その他一般）に向けた情報を発信するため、コンテンツを検討する。

②　新専門薬剤師制度を周知するため、専門薬剤師制度委員会と連携し、コンセプトや魅力などを積極的に発信するコンテンツの作成を検討する。

③　各種委員会と連携し、成果や活動内容を積極的に発信するコンテンツを作成する。

④　国際交流委員会及び年会あり方検討委員会と協力して、英文ホームページの更新を検討する。

⑤　出版図書の普及促進となるコンテンツの作成を検討する。

2　薬学生や大学院生、非会員薬剤師等の加入勧誘を目的とした学会紹介リーフレットを作成し、配布する。冊子としての検討も行う。

3　一斉配信メールなど、会員への広報活動の促進策を検討する。

4　「病態を理解して組み立てる 薬剤師のための疾患別薬物療法」の次期改訂版の編集方針を検討する。

(6) 会員委員会

1　正会員及び学生会員数の増加策を検討する。特に薬局薬剤師、薬学生や大学院生、製薬企業所属者、行政関係者の会員増加策に関する検討を行う。

2　会費徴収を含めた会員管理システムの利便性をより高めるための方策を検討する。

3　会員管理システムの運用改善に関する検討を行う。

(7) 医療薬学編集委員会

1　投稿論文の審査・採否の決定・掲載とより迅速で適切な体制整備を検討する。

2　医療薬学誌第 48 巻を発行する。

3　投稿論文並びに掲載論文の増加策の検討と学術誌としての質の維持・向上を図る。

4　医療薬学誌の紙媒体としての特性を踏まえたコンテンツの再編と、学術誌としての機能に加えて、会員からの情報提供・共有を図る媒体として活用することを検討する。

(8) JPHCS 編集委員会

1　JPHCS 誌の論文投稿を随時受付け、これを審査し、受理された論文を第 8 巻に掲載する。

2　JPHCS 誌の認知度向上および投稿数増加に向けた取り組みを検討、実施する。

(9) 専門薬剤師制度運営委員会

1　各専門薬剤師制度を統括し、制度設計及び運営を管理・監督する。

2　各専門薬剤師制度の諸規程の新規策定及び見直しを検討する。

3　各専門薬剤師制度の研修施設の認定審査を実施する。

4　各専門薬剤師制度の連携研修の運営管理を行う。

5　下部組織として、次の小委員会及びワーキンググループを置き、その運営を管理・監督する。

① 薬物療法集中講義企画・運営小委員会

・ 薬物療法集中講義を企画・運営する。

② 専門薬剤師認定試験小委員会

・ 専門薬剤師認定試験の試験問題を作成する。

・ 専門薬剤師認定試験の実施と採点を行い、合否判定結果を上申する。

③ 専門薬剤師制度支援システム検討ワーキンググループ

・ 認定申請及び審査の円滑な実施に向けた申請・審査システムを構築する。

・ 研修施設（連携研修を含む）を管理するシステムを構築する。

④ 中小療養病床専門薬剤師制度検討ワーキンググループ

・ 地域医療や慢性期医療を担う医療機関の所属者を対象とする専門薬剤師制度の構築を検討する。

6　新型コロナウイルスへの感染対策を考慮した集中講義等の開催のあり方（WEB 開催など）について協議する。

(10) 医療薬学専門薬剤師認定委員会

1　医療薬学専門薬剤師、医療薬学指導薬剤師の新規及び更新に係る認定審査を実施する。

2　医療薬学専門薬剤師研修施設の新規及び更新に係る認定審査を実施する。

3　医療薬学専門薬剤師認定制度に関する問題の協議を行い、方策を実施する。

4　下部組織となる医療薬学専門薬剤師研修小委員会の運営を管理・監督する。

・ 医療薬学専門薬剤師研修ガイドライン及びカリキュラムを更新する。

・ 受講単位の対象となるセミナーを受け付け審査・認定する。

（11）薬物療法専門薬剤師認定委員会

1　薬物療法専門薬剤師、薬物療法指導薬剤師の新規及び更新に係る認定審査を実施する。

2　薬物療法専門薬剤師認定制度に関する問題の協議を行い、方策を実施する。

3　薬物療法専門薬剤師の育成（症例サマリのまとめ方）と全国に向けた情報発信を行う。

4　本学会年会において、症例サマリのまとめ方に係るシンポジウム及びワークショップを企画し開催する。

5　下部組織となる薬物療法専門薬剤師研修小委員会の運営を管理・監督する。

・ 薬物療法専門薬剤師研修ガイドライン及びカリキュラムを更新する。

・ 単位認定の対象となるセミナーの申請を受け付け審査・認定する。

（12）がん専門薬剤師認定委員会

1　がん専門薬剤師、がん指導薬剤師の新規及び更新に係る認定審査を実施する。

2　がん専門薬剤師の養成及び有資格者を対象とした研修会を立案し実施する。

① がん専門薬剤師集中教育講座を日本病院薬剤師会と共催で実施する。

② がん専門薬剤師アドバンスト研修会を実施する。

③ がん専門薬剤師全体会議を実施する。

④ がん専門薬剤師の申請に係る症例サマリのまとめ方セミナーを実施する。

3　がん専門薬剤師認定試験の問題を作成し試験を実施する。

4　がん領域の他学会とのコラボレーション企画を検討して実施する。

5　がん専門薬剤師の研修ガイドライン及びコアカリキュラムを更新する。

6　新型コロナウイルスへの感染対策を考慮した集中講義等の開催のあり方（WEB 開催など）について協議する。

（13）地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会

1　過渡的認定を含む地域薬学ケア専門薬剤師の認定審査を実施する。

2　地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に関する問題の協議を行い、方策を実施する。

3　地域薬学ケア専門薬剤師の育成（症例サマリのまとめ方）と全国に向けた情報発信を行う。

4　下部組織となる地域薬学ケア専門薬剤師研修小委員会の運営を管理・監督する。

① 本学会年会及び他学会等の学術大会において、症例サマリのまとめ方に係るシンポジウム等を企画し開催する。

② 地域薬学ケア専門薬剤師研修ガイドライン及びカリキュラムを更新する。

③ 受講単位の対象となるセミナーを受け付け審査・認定する。

（14）学会賞選考委員会

1　功績賞選考規程に基づき、功績賞受賞候補者を選考する。

2　振興賞選考規程に基づき、振興賞受賞候補者を選考する。

3　学術に関連する賞として、日本医療薬学会賞、学術賞、奨励賞及び Postdoctoral Award の各受賞候補者を募集し、各賞の選考規程に基づき各受賞候補者を選考する。

4　論文賞選考規程に基づき、医療薬学誌第 47 巻および JPHCS 誌 Vol.7 の各誌に掲載された論文より、医療薬学誌論文賞および JPHCS 誌論文賞受賞候補論文を選考する。

（15）医療薬学教育委員会

1　卒前から卒後初期に対する薬剤師のキャリアパス構築に向けた事業の起ち上げを検討するため、以下について取り組む。

① 各薬学部や日本薬学生連盟と協力し、初学年次（1、2 年生）に対して本学会の専門薬剤師の姿を学生に伝える活動（ウェビナーなど）の計画を検討する。

② フレッシャーズ活性化委員会と情報共有・連携できる活動計画を検討する。

③ 卒後初期の薬剤師に対して医療薬学会の各種専門薬剤師認定委員会と情報共有・連携し、資格取得までのキャリアパスがイメージできるような資材・教材作成を検討する。

（16）研究推進委員会

1　臨床研究セミナーを企画・開催し、会員の研究活動を推進する。

2　臨床系薬学教員の研究活動を活性化するための方策を検討する。

3　会員による医療薬学研究（疫学研究等）を支援するための方策について検討する。

（17）国際交流委員会

1　会員の国際化を推進するため、本学会年会において国際シンポジウムを企画・開催するとともに、International Session として一般演題の口頭及びポスター発表を企画する。

2　海外研修等助成に関する事業を運営する。

3　海外における薬剤師の活動に関する情報を会員へ提供するとともに、会員の国際化へ向けた意識向上を図る。

（18）利益相反マネジメント委員会

1　利益相反の申告対象者の利益相反状態を確認する。

2　申告書類の保管管理を行う。

（19）医療薬学学術委員会

1　学術活動の活性化に繋がる研究テーマを決定し、研究課題を公募する。

2　応募案件から学術小委員会として支援に資する研究課題を選考する。（3 件程度）

3　2021 年度に発足した学術小委員会を統括する。

4　下部組織の医療薬学学術小委員会で、以下の事項を実施する。

① 研究計画に沿って研究を実施し、年度毎に研究報告書を作成する。

② 研究最終年度には、年度毎の報告に加えて、研究成果最終報告書を提出する。

③ 本学会年会において、研究成果に関するシンポジウムを企画・開催する。

（20）年会あり方検討委員会

1　年会の運営等に関わるルール作りを検討する。

2　年会の運営、会計処理の実施に必要な諸規程の整備を検討する。

3　年会運営事務に関わる委託契約を含めた体制及び契約のあり方を検討する。

4　国際交流委員会及び広報・出版委員会と協力して、年会用ホームページの英語版の構築を検討する。

（21）公益法人化等将来計画検討委員会

本学会の将来構想に関わる事項として、学術団体としての運営方針や組織体制のあり方を提言としてまとめ、事業の継続性を担保し本学会の持続的な発展に資する検討を進める。

1　本学会が目指す規模や他団体との関係性を議論する。

2　公益社団法人への移行に係る検討を進める。

3　職域別代議員選出のあり方を検討する。

4　会頭選任スキームを検討する。

協議事項　第二号議案

２０２２年度 予算案

自　2022 年 1 月 1 日
至　2022 年 12 月 31 日

2022年度　収支状況表(案)
2022年1月1日から2022年12月31日まで

	項目　　科目	2020年度 実績額	2021年度予算 予算額	2022年度予算 予算額	2021年、2022年の 予算額差異
001	＜収入の部＞				
002	経常収益				
003	受取会費収益	127,797,500	124,400,000	133,800,000	9,400,000
004	正会員受取会費	127,005,500	123,500,000	133,000,000	9,500,000
005	学生会員受取会費	392,000	500,000	400,000	▲100,000
006	賛助会員受取会費	400,000	400,000	400,000	－
007	年会事業収益	142,788,266	135,984,000	180,483,500	44,499,500
008	受取参加料	102,587,000	87,100,000	111,400,000	24,300,000
009	受取負担金	31,000,000	38,300,000	59,130,000	20,830,000
010	受取補助金等	500,000	500,000	500,000	－
011	受取寄付金	6,600,000	8,000,000	6,500,000	▲1,500,000
012	受取広告料	2,101,000	2,024,000	2,915,000	891,000
013	雑収益	266	60,000	38,500	▲21,500
014	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ事業収益	59,501	150,000	50,000	▲100,000
015	受取参加料	59,500	150,000	50,000	▲100,000
016	雑収益	1	－	－	－
017	フレッシャーズ活性化委員会収益	－	220,000	225,000	5,000
018	受取参加料	－	220,000	225,000	5,000
019	医療薬学誌発行事業収益	11,075,718	7,086,000	7,755,000	669,000
020	受取投稿掲載料	5,978,566	4,244,000	5,113,000	869,000
021	受取広告料	2,684,000	2,100,000	2,100,000	－
022	購読料	242,000	242,000	242,000	－
023	雑収益	2,171,152	500,000	300,000	▲200,000
024	広報・出版委員会収益	71,216	100,000	100,000	－
025	雑収益	71,216	100,000	100,000	－
026	専門薬剤師運営収益	－	20,060,000	39,695,000	19,635,000
027	受取参加料	－	16,060,000	35,695,000	19,635,000
028	受取受託料	－	4,000,000	4,000,000	－
029	医療薬学専門薬剤師事業収益	6,160,560	12,837,000	12,298,000	▲539,000
030	受取審査認定指定料	6,154,500	12,837,000	12,298,000	▲539,000
031	雑収益	6,060	－	－	－
032	薬物療法専門薬剤師事業収益	363,000	1,270,500	2,189,000	918,500
033	受取審査認定指定料	363,000	1,270,500	2,189,000	918,500
034	がん専門薬剤師事業収益	20,780,240	40,894,000	41,702,000	808,000
035	受取参加料	14,553,000	27,795,000	28,150,000	355,000
036	受取審査認定指定料	6,226,000	8,569,000	8,811,000	242,000
037	受取負担金	－	3,740,000	3,960,000	220,000
038	受取広告料	－	790,000	781,000	▲9,000
039	雑収益	1,240	－	－	－
040	地域薬学ケア専門薬剤師事業収益	2,503,600	5,775,000	20,834,000	15,059,000
041	受取審査認定指定料	2,503,600	5,775,000	20,834,000	15,059,000
042	研究推進委員会収益	－	902,000	1,870,000	968,000
043	受取参加料	－	902,000	1,870,000	968,000
044	その他収益　雑収益	1,019,688	180,000	420,000	240,000
045	収益合計	312,619,289	349,858,500	441,421,500	91,563,000

	項目　　科目	2020年度 実績額	2021年度予算 予算額	2022年度予算 予算額	2021年、2022年の 予算額差異
046	＜支出の部＞				
047	経常費用				
048	年会事業費用	104,474,354	136,047,098	180,983,500	44,936,402
049	会議費	195,395	5,511,440	7,023,500	1,512,060
050	旅費交通費	1,030,400	6,805,700	3,246,000	▲3,559,700
051	通信運搬費	10,364,354	3,899,390	4,282,000	382,610
052	消耗什器備品費	－	10,923,660	17,025,756	6,102,096
053	消耗品費	55,000	880,000	2,424,180	1,544,180
054	印刷製本費	9,462,904	12,179,200	8,349,200	▲3,830,000
055	租税公課	6,070,400	4,653,709	5,988,353	1,334,644
056	賃借料	8,745,450	35,103,750	41,657,727	6,553,977
057	諸謝金	1,966,260	3,996,953	5,650,000	1,653,047
058	委託費	58,697,033	49,396,391	75,226,060	25,829,669
059	支払手数料	6,448,358	2,366,905	8,204,000	5,837,095
060	雑費	1,438,800	330,000	1,906,724	1,576,724
061	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ事業費用	1,316,728	2,244,000	2,733,000	489,000
062	会議費	51,570	130,000	135,000	5,000
063	旅費交通費	104,360	680,000	530,000	▲150,000
064	通信運搬費	5,802	25,000	165,000	140,000
065	消耗什器備品費	93,500	－	－	－
066	消耗品費	22,962	20,000	40,000	20,000
067	印刷製本費	56,375	120,000	45,000	▲75,000
068	賃借料	448,420	160,000	590,000	430,000
069	諸謝金	298,470	800,000	800,000	－
070	委託費	82,500	－	85,000	85,000
071	支払広告料	99,000	264,000	264,000	－
072	支払手数料	23,869	45,000	79,000	34,000
073	雑費	29,900	－	－	－
074	フレッシャーズ活性化委員会費用	1,925	1,331,000	1,212,000	▲119,000
075	会議費	－	80,000	80,000	－
076	旅費交通費	－	488,000	327,000	▲161,000
077	通信運搬費	－	15,000	57,000	42,000
078	消耗什器備品費	－	10,000	10,000	－
079	消耗品費	－	20,000	20,000	－
080	印刷製本費	1,595	115,000	115,000	－
081	賃借料	－	200,000	200,000	－
082	諸謝金	－	12,000	12,000	－
083	委託費	330	365,000	365,000	－
084	支払手数料	－	6,000	6,000	－
085	雑費	－	20,000	20,000	－
086	医療薬学誌発行事業費用	38,574,543	37,340,000	40,345,000	3,005,000
087	会議費	－	10,000	－	▲10,000
088	旅費交通費	－	60,000	－	▲60,000
089	通信運搬費	10,475,420	9,600,000	10,875,000	1,275,000
090	消耗品費	－	10,000	10,000	－
091	印刷製本費	26,555,273	25,800,000	27,840,000	2,040,000
092	委託費	1,543,850	1,860,000	1,620,000	▲240,000
093	JPHCS誌発行事業費用	3,301,974	5,868,000	4,720,000	▲1,148,000
094	会議費	－	10,000	－	▲10,000
095	旅費交通費	－	48,000	－	▲48,000
096	通信運搬費	－	－	60,000	60,000
097	委託費	3,291,974	5,800,000	4,650,000	▲1,150,000
098	支払手数料	10,000	10,000	10,000	－

	項目　　科目	2020年度 実績額	2021年度予算 予算額	2022年度予算 予算額	2021年、2022年の 予算額差異
099	広報・出版委員会費用	767,302	1,925,000	1,270,000	▲655,000
100	会議費	－	10,000	15,000	5,000
101	旅費交通費	－	290,000	266,000	▲24,000
102	通信運搬費	77,272	60,000	144,000	84,000
103	消耗品費	－	10,000	－	▲10,000
104	印刷製本費	690,030	500,000	845,000	345,000
105	委託費	－	1,000,000	－	▲1,000,000
106	支払手数料	－	55,000	－	▲55,000
107	専門薬剤師制度運営委員会費用	2,904,431	21,195,000	19,142,000	▲2,053,000
108	会議費	39,760	100,000	180,000	80,000
109	旅費交通費	1,537,740	2,100,000	2,554,000	454,000
110	通信運搬費	507,000	100,000	864,000	764,000
111	消耗品費	－	10,000	10,000	－
112	印刷製本費	－	2,550,000	50,000	▲2,500,000
113	図書購入費	－	30,000	30,000	－
114	賃借料	547,170	9,700,000	3,000,000	▲6,700,000
115	諸謝金	256,151	2,225,000	736,000	▲1,489,000
116	委託費	16,610	4,350,000	11,718,000	7,368,000
117	支払手数料	－	30,000	－	▲30,000
118	医療薬学専門薬剤師事業費用	681,456	3,090,000	1,659,000	▲1,431,000
119	会議費	14,400	25,000	22,000	▲3,000
120	旅費交通費	226,220	355,000	246,000	▲109,000
121	通信運搬費	228,756	50,000	251,000	201,000
122	印刷製本費	212,080	350,000	150,000	▲200,000
123	委託費	－	2,310,000	990,000	▲1,320,000
124	薬物療法専門薬剤師事業費用	72,556	1,002,000	1,310,000	308,000
125	会議費	－	20,000	30,000	10,000
126	旅費交通費	3,000	513,000	370,000	▲143,000
127	通信運搬費	31,236	20,000	200,000	180,000
128	印刷製本費	25,080	20,000	50,000	30,000
129	委託費	－	429,000	660,000	231,000
130	支払手数料	13,240	－	－	－
131	がん専門薬剤師事業費用	8,914,976	25,444,000	27,384,000	1,940,000
132	会議費	59,663	1,080,000	240,000	▲840,000
133	旅費交通費	1,074,340	4,730,000	4,204,000	▲526,000
134	通信運搬費	455,269	180,000	1,368,000	1,188,000
135	消耗品費	245,080	330,000	350,000	20,000
136	印刷製本費	1,356,410	3,080,000	1,341,000	▲1,739,000
137	図書購入費	－	50,000	50,000	－
138	租税公課	200	－	－	－
139	賃借料	3,711,070	7,350,000	4,180,000	▲3,170,000
140	諸謝金	1,061,759	3,197,000	1,721,000	▲1,476,000
141	委託費	921,745	5,387,000	13,200,000	7,813,000
142	支払手数料	29,440	60,000	730,000	670,000
143	地域薬学ケア専門薬剤師事業費用	1,398,091	4,498,000	17,854,000	13,356,000
144	会議費	46,831	30,000	65,000	35,000
145	旅費交通費	1,003,390	638,000	1,181,000	543,000
146	通信運搬費	341,160	100,000	368,000	268,000
147	印刷製本費	－	100,000	60,000	▲40,000
148	委託費	6,710	3,630,000	16,180,000	12,550,000

	項目　　科目	2020年度 実績額	2021年度予算 予算額	2022年度予算 予算額	2021年、2022年の 予算額差異
149	研究推進委員会費用	71,330	990,000	5,026,000	4,036,000
150	会議費	－	30,000	30,000	－
151	旅費交通費	－	552,000	802,000	250,000
152	通信運搬費	27,000	－	27,000	27,000
153	消耗品費	－	5,000	－	▲5,000
154	賃借料	－	250,000	1,000,000	750,000
155	諸謝金	－	75,000	112,000	37,000
156	委託費	5,830	30,000	3,055,000	3,025,000
157	支払広告料	33,000	33,000	－	▲33,000
158	支払手数料	5,500	15,000	－	▲15,000
159	学術委員会費用	572,948	2,685,000	3,108,000	423,000
160	会議費	－	50,000	50,000	－
161	旅費交通費	301,520	435,000	1,330,000	895,000
162	通信運搬費	33,000	－	228,000	228,000
163	賃借料	139,100	－	－	－
164	委託費	34,098	－	－	－
165	支払助成金	－	2,200,000	1,500,000	▲700,000
166	支払手数料	65,230	－	－	－
167	国際交流事業費用	－	2,860,000	2,890,000	30,000
168	会議費	－	360,000	360,000	－
169	旅費交通費	－	1,000,000	1,000,000	－
170	通信運搬費	－	－	30,000	30,000
171	支払助成金	－	1,500,000	1,500,000	－
172	学術関連賞選考委員会費用	1,363,724	2,073,000	2,083,000	10,000
173	会議費	－	10,000	－	▲10,000
174	旅費交通費	－	623,000	500,000	▲123,000
175	通信運搬費	161,434	60,000	203,000	143,000
176	消耗品費	－	20,000	20,000	－
177	雑費	1,202,290	1,360,000	1,360,000	－
178	教育委員会費用	－	315,000	180,000	▲135,000
179	会議費	－	20,000	15,000	▲5,000
180	旅費交通費	－	295,000	138,000	▲157,000
181	通信運搬費	－	－	27,000	27,000
182	会員委員会費用	－	17,000	15,000	▲2,000
183	会議費	－	5,000	－	▲5,000
184	旅費交通費	－	12,000	－	▲12,000
185	通信運搬費	－	－	15,000	15,000
186	利益相反マネジメント委員会費用	－	17,000	15,000	▲2,000
187	会議費	－	5,000	－	▲5,000
188	旅費交通費	－	12,000	－	▲12,000
189	通信運搬費	－	－	15,000	15,000
190	製薬企業連携検討WG費用	－	－	15,000	15,000
191	通信運搬費	－	－	15,000	15,000
192	理事会/総会/選挙管理委員会　費用	1,160,989	4,540,000	3,984,000	▲556,000
193	会議費	11,339	150,000	150,000	－
194	旅費交通費	584,740	3,520,000	2,893,000	▲627,000
195	通信運搬費	406,260	200,000	321,000	121,000
196	賃借料	67,100	370,000	370,000	－
197	委託費	88,000	300,000	250,000	▲50,000
198	支払手数料	3,550	－	－	－
199	総務/選挙制度/人事/公益法人化委員会費用	130,810	212,000	1,399,000	1,187,000
200	会議費	3,390	10,000	60,000	50,000
201	旅費交通費	58,420	202,000	1,234,000	1,032,000
202	通信運搬費	69,000	－	105,000	105,000

	項目　　科目	2020年度 実績額	2021年度予算 予算額	2022年度予算 予算額	2021年、2022年の 予算額差異
203	財務委員会/監事監査　費用	108,140	370,000	365,000	▲5,000
204	会議費	1,000	20,000	－	▲20,000
205	旅費交通費	95,140	350,000	350,000	－
206	通信運搬費	12,000	－	15,000	15,000
207	年会のあり方委員会費用	412,270	320,000	378,000	58,000
208	会議費	8,750	10,000	10,000	－
209	旅費交通費	331,520	310,000	344,000	34,000
210	通信運搬費	72,000	－	24,000	24,000
211	創立30周年記念事業委員会費用	3,420,997	5,970,000	－	▲5,970,000
212	会議費	1,900	－	－	－
213	旅費交通費	3,000	－	－	－
214	通信運搬費	57,402	1,800,000	－	▲1,800,000
215	印刷製本費	514,800	4,000,000	－	▲4,000,000
216	賃借料	298,348	－	－	－
217	諸謝金	－	170,000	－	▲170,000
218	委託費	2,489,320	－	－	－
219	雑費	56,227	－	－	－
220	事務局費用	65,887,663	88,393,000	111,405,000	23,012,000
221	給料手当	19,641,257	32,345,000	46,830,000	14,485,000
222	福利厚生費	112,642	300,000	300,000	－
223	法定福利費	3,207,533	5,088,000	7,470,000	2,382,000
224	会議費	60,460	300,000	80,000	▲220,000
225	旅費交通費	516,498	1,100,000	1,200,000	100,000
226	通信運搬費	1,053,111	800,000	3,420,000	2,620,000
227	消耗什器備品費	1,417,445	2,000,000	2,400,000	400,000
228	消耗品費	239,735	600,000	600,000	－
229	印刷製本費	－	50,000	50,000	－
230	図書購入費	14,660	10,000	15,000	5,000
231	租税公課	88,953	80,000	90,000	10,000
232	賃借料	14,773,248	14,800,000	14,800,000	－
233	保険料	582,440	680,000	520,000	▲160,000
234	光熱水料費	784,448	720,000	800,000	80,000
235	渉外費	10,000	100,000	100,000	－
236	団体年会費	469,300	470,000	470,000	－
237	支払寄付金	50,000	50,000	50,000	－
238	委託費	15,840,899	19,100,000	22,300,000	3,200,000
239	支払手数料	6,419,664	7,550,000	7,360,000	▲190,000
240	雑費	605,370	2,250,000	2,550,000	300,000
241	費用合計	235,537,207	348,746,098	429,475,500	80,729,402
242	経常増減額	77,082,082	1,112,402	11,946,000	10,833,598
243	特定資産取崩収入				
244	財政安定引当資産取崩	－	40,000,000	40,000,000	
245	固定資産取得支出				
246	ソフトウエア	－	30,000,000	30,000,000	
247	収支差額		11,112,402	21,946,000	

248 正味財産増減計算書調整額

249	減価償却費	△ 459,155	△ 350,000	△ 4,200,000	
250	退職給付費用	△ 378,044	△ 650,000	△ 879,000	
251	調整額合計	△ 837,199	△ 1,000,000	△ 5,079,000	

収支予算書（損益計算ベース)(案）

2022年1月1日から2022年12月31日まで

（単位：円）

	科　目	事業会計	法人会計	合計
01	1．経常増減の部			
02	（1）経常収益			
03	受取会費	67,100,000	66,700,000	133,800,000
04	正会員受取会費	66,500,000	66,500,000	133,000,000
05	学生会員受取会費	200,000	200,000	400,000
06	賛助会員受取会費	400,000	－	400,000
07	事業収益	230,635,000	－	230,635,000
08	受取参加料	177,390,000	－	177,390,000
09	受取審査認定指定料	44,132,000	－	44,132,000
10	受取受託料	4,000,000	－	4,000,000
11	投稿掲載料	5,113,000	－	5,113,000
12	受取負担金	63,090,000	－	63,090,000
13	受取負担金	63,090,000	－	63,090,000
14	受取補助金等	500,000	－	500,000
15	受取民間助成金	500,000	－	500,000
16	受取寄付金	6,500,000	－	6,500,000
17	受取寄付金	6,500,000	－	6,500,000
18	雑収益	6,896,500	－	6,896,500
19	受取広告料	5,796,000	－	5,796,000
20	受取利息	31,000	－	31,000
21	購読料	242,000	－	242,000
22	雑収益	827,500	－	827,500
23	**経常収益計**	374,721,500	66,700,000	441,421,500
24	（2）経常費用			
25	事業費	406,509,331		406,509,331
26	給料手当	37,791,810		37,791,810
27	退職給付費用	709,353		709,353
28	福利厚生費	242,100		242,100
29	法定福利費	6,028,290		6,028,290
30	会議費	8,368,480		8,368,480
31	旅費交通費	19,284,688		19,284,688
32	通信運搬費	22,071,885		22,071,885
33	消耗什器備品費	18,972,556		18,972,556
34	消耗品費	3,358,380		3,358,380
35	印刷製本費	38,885,550		38,885,550
36	図書購入費	92,105		92,105
37	租税公課	5,988,353		5,988,353
38	減価償却費	3,280,200		3,280,200
39	賃借料	62,186,527		62,186,527
40	諸謝金	9,031,000		9,031,000
41	光熱水料費	624,800		624,800
42	渉外費	80,700		80,700
43	委託費	145,935,460		145,935,460
44	支払広告料	264,000		264,000
45	支払助成金	3,000,000		3,000,000
46	支払手数料	14,968,520		14,968,520
47	雑費	5,344,574		5,344,574
48	管理費		28,045,169	28,045,169
49	給料手当		9,038,190	9,038,190
50	退職給付費用		169,647	169,647
51	福利厚生費		57,900	57,900
52	法定福利費		1,441,710	1,441,710
53	会議費		177,020	177,020
54	旅費交通費		3,430,312	3,430,312
55	通信運搬費		1,007,115	1,007,115
56	消耗什器備品費		463,200	463,200
57	消耗品費		115,800	115,800
58	印刷製本費		9,650	9,650
59	図書購入費		2,895	2,895
60	租税公課		90,000	90,000
61	減価償却費		919,800	919,800
62	賃借料		3,611,200	3,611,200
63	保険料		520,000	520,000
64	光熱水料費		175,200	175,200
65	渉外費		19,300	19,300
66	団体年会費		470,000	470,000
67	支払寄付金		50,000	50,000
68	委託費		4,363,600	4,363,600
69	支払手数料		1,420,480	1,420,480
70	雑費		492,150	492,150
71	**経常費用計**	406,509,331	28,045,169	434,554,500
72	評価損益等調整前当期経常増減額	▲31,787,831	38,654,831	6,867,000
73	当期経常増減額	▲31,787,831	38,654,831	6,867,000
74	2．経常外増減の部			
75	当期一般正味財産増減額	▲31,787,831	38,654,831	6,867,000

協議事項　第三号議案

名誉会員の委嘱

名誉会員推薦候補者

（五十音順）

１．大森 栄　氏

信州大学名誉教授
功績賞受賞年度：　２０１６年

２．　望月 眞弓　氏

慶応義塾大学名誉教授
功績賞受賞年度：　２０１６年

上記の２名は、一般社団法人日本医療薬学会「名誉会員推薦基準内規」の第２条及び第３条の推薦基準を満たす。

報告事項 1

2021 年度 各学会賞受賞者・論文のお知らせ

2021年度日本医療薬学会学会賞受賞者・受賞論文

（五十音順、掲載順、敬称略）

【振興賞】（２名）

相羽 惠介　　（戸田中央総合病院 腫瘍内科）
中澤 一純

【日本医療薬学会賞】（１名）

井関 健　　（北海道医療大学 薬学部）
＜研究の主題＞
「トランスポーターが関与する薬物動態と病態変化の影響」

【学術賞】（２名）

今村 知世　　（昭和大学 先端がん治療研究所）
＜研究題目＞
「抗がん薬の曝露量と有効性／毒性との相関研究と曝露量規定因子に基づく個別化投与の確立」

川上 和宜　（公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部）
＜研究題目＞
「がん患者へのファーマシューティカルケアの実践」

【奨励賞】（３名）

池村 健治　　（大阪大学医学部附属病院 薬剤部）
＜研究題目＞
「薬物動態学的アプローチを基盤としたがん薬物療法の副作用回避に向けたエビデンス構築」

今井 俊吾　　（北海道大学大学院薬学研究院 薬物動態解析学研究室）
＜研究題目＞
「データマイニング手法とビッグデータの活用による臨床薬学研究の解析アプローチの探求」

平井 啓太　　（静岡県立大学 薬学部）
＜研究題目＞
「精密医療の実現を目指した治療層別化マーカーの構築」

【Postdoctoral Award】（１０名）

相澤 風花　　（徳島大学病院 薬剤部）
＜学位論文題目＞
「反復ストレス暴露による慢性疼痛形成機構における脳内脂肪酸－GPR40/FFAR1の関与」

石川 修平　　（北海道大学病院 精神科神経科）
＜学位論文題目＞
「クロザピン誘発性流涎症のリスク因子の解明と治療法の探索」

石原 慎之　　（島根大学医学部附属病院 薬剤部）
＜学位論文題目＞
「高齢者における感染症治療の個別最適化を目指したクリニカルファーマコメトリクスの実践：抗菌薬適正使用による薬剤耐性対策へ向けて」

公文代 將希　（東北大学病院 薬剤部）
＜学位論文題目＞
「哺乳動物細胞株による高活性シクトロムP450発現系の構築と遺伝子多型バリアント酵素機能解析への応用」

柴田 海斗　　（浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部）
＜学位論文題目＞
「固相化トリプシンを用いたヒト血清中セツキシマブの絶対濃度測定のための簡易で迅速なLC-MS/MS法の開発」

成田 勇樹　　（熊本大学病院 薬剤部）
＜学位論文題目＞
「慢性腎臓病患者のポリファーマシーに対する総合的戦略に関する研究：プレイオトロピック効果による酸化ストレス制御の治療応用」

二木 悠哉　　（金沢大学附属病院 薬剤部）
＜学位論文題目＞
「Human monocarboxylate transporter1,4(hMCT1,4)の基質選択性の違いを決定する分子メカニズムに関する研究」

馬渕 賢幸　　（同志社女子大学 薬学部）
＜学位論文題目＞

「ポリファーマシーの実態解析と解消に向けたデータベース研究」

水野 貴仁　　（公立陶生病院 薬剤部）
＜学位論文題目＞
「基礎データと臨床データの融合によるキナーゼ阻害と有害事象の関連性の可視化とその臨床応用」

山崎 伸吾　　（千葉大学医学部附属病院 薬剤部）
＜学位論文題目＞
「救急集中治療領域患者の薬物動態に関する研究」

【医療薬学誌論文賞】（３報）

＜論文題目＞
「日本人悪性リンパ腫患者におけるリツキシマブの先行バイオ医薬品とバイオ後続品の有効性・安全性の評価」
＜著者＞
伊勢崎竜也，宮川慧子，平田一耕，成田健太郎，舟越亮寛
（医療薬学Vol.46，No.3，126-137）

＜論文題目＞
「病診薬連携で行う吸入支援のアウトカムの評価」
＜著者＞
鋒山香苗，杉本充弘，米澤淳，寺尾真琴，山本浩貴，吉田優子，朝倉佳代子，深津祥央，谷村和哉，佐藤晋，松本久子，中川俊作，北田徳昭，平井豊博，松原和夫
（医療薬学Vol.46，No.8，405-413）

＜論文題目＞
「経口抗がん薬治療における情報共有ツールおよびチーム基盤型学習を用いた病診薬連携の有用性の評価」
＜著者＞
植田梨沙，丹田雅明，伊藤雄大，榎本彩花，飯田真之，水田直美，山本和宏，槇本博雄，大村友博，矢野育子
（医療薬学Vol.46，No.12，681-691）

【JPHCS誌論文賞】（３報）

＜論文題目＞

「Comparison of various pharmaceutical properties of clobetasol propionate cream formulations - considering stability of mixture with moisturizer -」

＜著者＞

Yoshihisa Yamamoto, Yoshinori Onuki, Toshiro Fukami and Tatsuo Koide

（JPHCS 2020 6:1）

＜論文題目＞

「Evaluation of the efficacy of drug treatment based on measurement of the oxidative stress, using reactive oxygen metabolites and biological antioxidant potential, in children with autism spectrum disorder and attention deficit hyperactivity disorder」

＜著者＞

Taisuke Kitaoka, Masahito Morimoto, Toshiaki Hashimoto, Yoshimi Tsuda, Tadanori Nakatsu and Shojiro Kyotani

（JPHCS 2020 6:8）

＜論文題目＞

「Prediction of the permeability of antineoplastic agents through nitrile medical gloves by zone classification based on their physicochemical properties」

＜著者＞

Toyohito Oriyama, Takehito Yamamoto, Katsuhiko Nara, Yohei Kawano, Katsuyoshi Nakajima, Hiroshi Suzuki and Takao Aoyama

（JPHCS 2020 6:23）

報告事項 ２

2022 年度 各学会賞受賞候補者の募集

２０２１年１１月

会員 各位

一般社団法人日本医療薬学会

２０２２年度 日本医療薬学会 各学会賞受賞候補者募集のお知らせ

本学会では、毎年、医療薬学分野において優れた研究業績を挙げられた方に、学会賞を贈り表彰しております。近年、本学会の年会をはじめ、活発な学術活動が行われている中、医療薬学分野での研究活動のさらなる活性化を図るため、２０２０年度より学術研究の貢献や功績に応じて、日本医療薬学会賞、学術賞、奨励賞及びPostdoctoral Awardの４つのカテゴリーに区分し、従来よりも多くの方が受賞できる表彰制度といたしました。

今般、２０２２年度の各学会賞候補者を、下記の要領にて募集いたしますので、会員の皆様におかれましては、奮ってご応募ください。

記

１．日本医療薬学会賞

極めて優れた研究を通して医療薬学の発展に貢献した会員対象に、書類選考の上、「日本医療薬学会賞」を贈り表彰いたします。

２．学 術 賞

医療薬学分野における優れた研究成果を挙げた４０歳以上の本学会員を対象に、書類選考の上、「日本医療薬学会学術賞」を贈り表彰いたします。

３．奨 励 賞

若手会員の研究を推進・奨励する表彰制度として、医療薬学に関連する優れた研究業績を挙げた４０歳未満の若手の本学会員を対象に、書類選考の上、「日本医療薬学会奨励賞」を贈り表彰いたします。

４．Postdoctoral Award

医療薬学分野に関する研究課題に取り組んだ学業活動により学位を取得した本学会員を対象に、書類選考の上、「日本医療薬学会Postdoctoral Award」を贈り表彰いたします。

＜応募手続きに関するご案内＞

各賞の応募要項等につきましては、本学会ホームページでご案内しております。

URL https://www.jsphcs.jp/

＜お問い合わせ先＞

一般社団法人日本医療薬学会事務局

〒 150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会長井記念館 7階

E-mail reg@jsphcs.jp TEL 03 - 3406 - 0787

報告事項 3

2022 年度 医療薬学学術委員会の
調査研究課題の募集

２０２１年１０月

会員 各位

一般社団法人日本医療薬学会
医療薬学学術委員会
委員長　齋藤 秀之

２０２２年度 医療薬学学術委員会の調査研究課題の公募について

本学会では、医療薬学領域の研究活動の推進を目的に、公募により設定した研究課題にそぐう案件を採択し、本学会の小委員会を編成し、研究資金を提供しています。

本事業では、これまで５つ小委員会を編成してきたところですが、研究活動の更なる推進策を講ずるため、下記の要項により２０２２年４月以降にスタートする調査研究課題を募集いたします。

記

１．募集する研究課題

１）本学会として取り組むべき、または推進すべき活動

（例）薬剤師職能・専門性の将来展開と学術的基盤の醸成、他学会等との連携推進、出版事業、WITH/POST 新型コロナウイルス時代の研修教育・情報共有のあり方など

２） 各領域、疾患群における医療薬学研究及び科学的薬物療法のエビデンス構築につながる活動

（例）プレシジョン・メディシンに関する研究、PBPM を活用したアウトカム・エビデンス、処方せん鑑査・疑義照会のチェックポイントマニュアル作成のための活動など

３） 多施設共同研究、分野連携型の医療薬学研究の基盤整備に関する活動

（例）患者レジストリーのシステム整備、トランスレーショナルリサーチ及びリバーストランスレーショナルリサーチの体制整備、医療ビッグデータの利活用、事務局体制の構築など

２．応募資格

前項の研究テーマに意欲的に取り組んでいる日本医療薬学会会員（応募時）からなる研究グループ（５名程度、調査研究課題が採択された場合には、研究代表者が学術小委員会の委員長となる）

３．調査研究期間

３年以内　（２０２２年４月以降に小委員会を発足）

４．研究の内容

１）研究助成金　５０万円以内／件（全調査研究期間を通じての総助成額）

２）会議費（学術小委員会を開催するための会議費及び旅費）を年３回以内で学会が支出する。

５．採択件数

合計３件以内

６．応募方法

研究活動申請書を本学会ホームページより入手し、必要事項を記入の上、学会事務局にメール添付にて送付する。（申請書は、本学会ホームページより入手可能）

７．応募締切

２０２２年２月２８日（月）　【必着】

８．選考方法

医療薬学学術委員会において審査し、理事会で決定する。

９．採否の通知

２０２２年３月末日までを目途にメールにて採択結果を連絡する。

１０．成果報告の義務

１）調査研究期間中、毎年研究活動報告書を提出し、最終年度には最終報告書を提出すること。

２）調査研究の最終年度あるいはその翌年の日本医療薬学会年会において、調査研究課題に関するシンポジウム等を企画し、成果を公表すること。

３）調査研究の成果物として、ガイドライン、マニュアルなどを出版する場合には、医療薬学学術委員会と協議すること。

１１．その他

本募集は、日本医療薬学会学術委員会及び学術小委員会運営規程による。

１２．申請書送付先

下記のアドレスに、メール添付にて申請書を送付すること。

１３．照会先　医療薬学会事務局

E-mail：reg@jsphcs.jp　　Tel：03-3406-0787

報告事項 ４

2022 年度 海外研修等助成員の募集

２０２１年１１月

会員 各位

一般社団法人 日本医療薬学会
国 際 交 流 委 員 会
委員長　矢野 育子

２０２２年度 海外研修等助成員募集のお知らせ

日本医療薬学会では、２００７年より薬剤師のがん薬物療法に関する知識と技能の向上を図り国民の健康福祉に貢献するため、がん薬物療法を専門とする薬剤師の育成を目的とした海外研修派遣事業を実施してきました。２０１８年度には、それまでの派遣事業を助成事業に変更し、助成対象をがん領域に限らず幅広い領域から募集しています。

本助成制度は、海外で開催される国際会議への参加による最新の知見の修得や、海外の医療機関における実務研修を通じた薬剤師による医療への関わり方や活動などを履修し、薬物療法のスペシャリストとして高いレベルで活躍できる薬剤師を育成する取り組みです。

今般、２０２２年度の本事業における助成員として、海外研修・施設見学、国際学会等での発表をされる方を対象に、本学会の海外研修等助成事業規程に基づき下記の要領により募集いたします。

応募要領

１．助成対象項目

助成対象を次の２つのいずれかとする。

① 海外の施設研修・見学（医療薬学に関連した専門的知識・技能の習得を目的とした病院、大学、研究所等における研修または見学）への助成

② 医療薬学に関連した海外で開催される学会における研究発表への助成

２．助成員の応募資格

本事業に応募できるのは、以下の条件を満たす者とする。

① 本学会の正会員で本学会会員歴３年以上であることかつ継続して会員の意思があること。

② 年会または本学会認定のシンポジウム等で２回以上の発表経験を有すること。

③ 十分な英語力を有していること。

④ 本学会認定の専門薬剤師または指導薬剤師（医療薬学、がん、薬物療法、地域薬学ケア）の資格を有していることが望ましい。

⑤ ４５歳以下で、施設又は部門の長、教授またはそれに準ずる職に就いていないこと。

３．採択人数

５名以内

４．選考

海外研修等助成員選考委員会が選考し、理事会の決議を経て決定します。

５．研修等の概略

２０２２年４月から２０２３年３月までの１年間に実施される次のいずれかの研修または学会に参加する。また、COVID-19 が懸念されることから、オンラインでの参加も認めます。

① 海外施設における研修・見学

② 海外で開催される学会での研究発表

６．費用の負担

実務研修に要する研修費、海外で開催される学会への参加登録費（オンライン参加を含む）、渡航に係る旅費等については、本学会の旅費規程によるほか、渡航航空運賃（エコノミークラス）、海外での移動に係る交通費及び宿泊費の実費相当額を、上限３０万円まで助成します。ただし、海外旅行保険料、パスポート取得・ESTA 申請費用は、助成対象者が負担するものとし、研修・見学、学会期間の全日にわたり日当は助成しません。COVID-19 への対応のため Web 開催や研修内容・期間等の変更が生じた場合には、理事会の決議を経て費用負担の変更を認めます。

７．海外研修等助成員の義務

研修・見学、学会等終了後に「海外研修等参加報告書」を提出していただきます。当該研修等参加報告は、学会誌・医療薬学および本学会ホームページで紹介させていただきます。

８．応募手続き

以下の①から⑦の書類を**２０２２年３月１０日（木）まで**に本学会事務局にメール添付にて送付してください。

① 応募申請書（書式１）
② 研修・見学または発表内容の要約（書式２）
③ 業績目録（書式３）
④ 薬物療法、医療薬学教育、医療薬学研究に関する実績証明書（書式４）
⑤ 推薦書（書式５）
⑥ 十分な英語力を有することを示す客観的な資料（TOEIC テスト等のスコア公式認定証のコピー）【注１】
⑦ 本学会認定の専門薬剤師や指導薬剤師の資格を有する場合は認定証のコピー

【注１】過去５年以内に受験した TOEIC テストのスコア公式認定証のコピーを提出してください。同認定証を提出できない場合には、申請者の英語力を示す客観的資料（例：英検、TOEFL など英語力検定試験の公式な証明書のコピー）を提出してください。５年以上前の資料、海外留学経験や国際学会での発表実績などは認められません。なお、英語力は TOEIC 試験において 650 点以上、あるいは他の英語力検定試験において相当以上の能力を有すること。

９．選考結果の通知

海外研修等助成員として選考された方には、メールにて連絡いたします。

【注２】 本助成の対象となる応募案件が中止や不採択になった場合は、原則として本助成が取り消しとなります。

１０．応募申請書の入手

本学会ホームページよりダウンロードしてください。

＜お問い合わせ先＞

日本医療薬学会事務局
メールアドレス　reg@jsphcs.jp
TEL 03-3406-0787

報告事項 5

第 36 回年会 年会長候補者の募集

２０２１年１１月

第３６回 日本医療薬学会年会長候補者に係る立候補受付のお知らせ

一般社団法人日本医療薬学会
年会長候補者推薦委員会
委員長　　富岡　佳久

本学会は、設立目的である「医療薬学に関する学理及びその応用についての研究発表、知識の交換、会員相互及び内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、医療薬学の進歩及び普及を図り、もって我が国の学術文化の発展と国民の福祉の向上に寄与すること」に則り、これまで多くの学術活動を推進してまいりました。

本学会最大の事業である年会は、これまで 31 回にわたって毎年開催され、医療薬学領域の学術活動の場として大きな役割を担っています。近年では、年会への参加者数が著しく増加し活況を呈するなど年会に寄せられる期待の大きさが実感されるところです。今後開催されるものとして、第 32 回（2022 年 9 月・高崎市）、第 33 回（2023 年 11 月・仙台市）、第 34 回（2024 年 11 月・千葉市）、第 35 回（2025 年 11 月・神戸市）までの開催予定が決定しており、本学会としては多くの期待に応えるべく年会の遂行に邁進する所存です。

今般、第 36 回日本医療薬学会年会（2026 年に実施予定）に係る年会長候補者の立候補を受け付けいたします。当該年会長候補者に立候補される方は、下記の要領に従いご応募ください。

第３６回 日本医療薬学会年会長候補者立候補要領

１．立候補資格

１）本学会の代議員であること。（応募時及び選考時）

２）本学会の年会の運営を担える能力、経験及び組織体制などを有していること。

２．採択人数

１名

３．選考方法

年会長候補者推薦委員会において選考の上、理事会の議を経て年会長候補者を決定いたします。なお、決定の前に、年会長候補者推薦委員会より立候補資格等に関する照会が行われる可能性があることを予め申し添えます。

４．選考結果通知

年会長候補者となった方に、理事会より通知されます。その後、正式に諾否のご回答をいただきます。

５．立候補手続き

本学会ホームページより立候補届書をダウンロードし、必要事項を記入の上、学会事務局にメール添付にて送付してください。

＜立候補届書の内訳＞

① 立候補届書（様式１）

② 推薦書（様式２）※

※②の推薦書は任意提出です。他薦による立候補の場合に提出してください。

６．立候補締切日

２０２２ 年 １ 月 ３１ 日（月） 必着

７．立候補届書の送付およびお問い合わせ先

日本医療薬学会事務局

メールアドレス reg@jsphcs.jp TEL 03-3406-0787